



◆アレルギー支援ネットワーク 通 信◆



NO. 97 2015. 1. 1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

あけましておめでとうございます。

今年も皆様にとって素晴らしい年であることをお祈りしております。

さて皆様、年賀状はもう確認しましたか？年賀状を書いているときに気づいた方もいるかもしれませんが、2015年の年賀ハガキにはちょっとしたドラマが隠されていることを知っていますか？そのドラマとは前回の未年であった2003年の年賀ハガキが関係しています。

2003年の年賀ハガキの切手柄では、羊さんがせっせと編み物をしていました。

2015年は…編みあがってる！そして自分で編んだマフラーをしています！！

（羊さん、若干ほっそりしているような…）

12年越しにこの羊はようやくマフラーを編みあげていたのです！

絵柄が気になる方は、ネットでちょっと話題になっていますので検索してみてくださいね。

それでは、今月のメルマガをお楽しみ下さい♪

===== も く じ =====

- 1、新年のご挨拶 アレルギー支援ネットワーク 理事長 須藤千春
- 2、注目!!第10期アレルギー大学開講記念講演&アレルギーっ子のフェア
- 3、「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会
- 4、賛助会員からのメッセージ (有) 泰匠
- 5、第9回 千葉アレネット情報
- 6、アレルギーっ子の防災
 - ★第15回 「アレルギー対応の防災訓練-2」 防災士中根輝彦
 - ★★東海アレルギー連絡会<第3回交流会>の報告
- 7、『第2回 みんなで知ろう食物アレルギー』ご参加お待ちしております♪
- 8、アレルギーが心配な保護者の方へ
 - ★豊川アレルギーっ子の会からのメッセージ
 - ★★1月「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
- 9、おすすめ♪講習会・イベント情報のお知らせ
- 10、Gooddo (グッドウ) でアレルギー支援ネットワークを応援して下さい！！

=====

1、新年のご挨拶 アレルギー支援ネットワーク 理事長 須藤千春

明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。

本年も宜しく願いいたします。

認定NPO法人アレルギー支援ネットワークは2006年の設立以来、「アレルギー大学」を活動の軸として、アレルギー患者と医療機関・企業・自治体などの橋渡し役として「アレルギーの会（患者会）」の設立と活動支援、アレルギーの科学的情報の普及、災害時のアレルギー支援活動などに取り組んできました。

このような活動が高く評価され、昨年10月7日に第66回保健文化賞を受賞することができました。これは本アレルギー支援ネットワークの活動を指導・支援・協力してくださった関係者、皆様のお陰であり、深く感謝します。特に本NPOを立ち上げ、活動を牽引、推進してくださった故栗木成治さんにお礼、感謝申し上げますと同時に、ご冥福をお祈りいたします。

保健文化賞の主催者は第一生命保険株式会社で、1950年に一般衛生思想の普及と保健衛生施策の向上のためにこの賞を設定したとのことで、保健衛生分野の権威ある賞として広く認められています。第一生命は戦前から国民病とも言われていた結核の早期発見・早期治療に尽力してきました。その活動を基盤として、戦後に結核予防協会が発足し、結核制圧に大きく貢献しました。1950年ごろの結核患者数は毎年50万人を超えていましたが、2011年の新登録患者数は22681人であります。

このような結核患者の急激な減少に反比例するように近年では気管支喘息やアトピー性皮膚炎、花粉症、食物アレルギーなどが著しく増加しています。つまり結核は昔の国民病で、アレルギー疾患は現代の国民病であると言えます。換言すると、結核などの細菌感染症が減少したことにより、私たちの身体はアレルギー疾患を発症し易くなったと考えられます。

では、なぜ私たちはアレルギー疾患を発症し易くなったのでしょうか？その答は私たちの生活環境の変化によると考えられます。敗戦後、高度経済成長を経て、上下水道の完備、強力な多種類の抗生物質の登場および家畜飼料への混入、多用などにより細菌に感染する機会が激減しました。

また都市環境はコンクリートやアスファルトによって塗り固められ、都会人は日常的に土や植物、動物に触れることは稀になりました。さらに食生活も魚食から肉食への変化により、青魚に多量に含まれているエイコペンタエンサンの摂取が減り、アレルギー症状が出易くなっています。このように生活環境が整い、衛生的になるにつれてアレルギー疾患が増加することは世界中で認められています。アレルギー疾患の増加に関するこのような考えを「衛生仮説」といいます。この考えを実証するために花粉症の患者ボランティアを対象に結核の予防ワクチンであるBCGを注射したところ、アレルギーが抑制されると報告されています。そのメカニズムとして、結核に感染すると、免疫の司令塔といわれるヘルパーT細胞がI型になり(T_h1)、T_h1細胞が分泌するIFN- γ が、アレルギー反応を誘導するII型ヘルパー細胞(T_h2)の増殖を抑制することによって説明されています。

一方、アレルギー疾患は子どもの成長により変化することが知られています。典型的な例では乳幼児期にはアトピー性皮膚炎と食物アレルギーが多く、学童期になると気管支喘息を発症し、その後アレルギー性鼻炎を発症します。このような変化をアレルギーマーチと言います。乳児期にはミルク、卵、大豆等を経口的に摂取することにより感作されてアトピー性皮膚炎を発症すると考えられていました。

ところが最近の研究で、体内への異物の侵入を防ぐ皮膚のバリア機能の低下があって、それが免疫の異常を引き起こすという経皮感作説が支持されるようになってきました。皮膚のバリア機能をもつ蛋白質は「フィラグリン」と呼ばれ、フィラグリン遺伝子に異常があると、アトピー性皮膚炎や気管支喘息の発症率が数倍高まると言われているが、異常がない患者でもフィラグリン遺伝子の発現が低下していると言われています。

イギリスでは皮膚に塗るベビーオイルに含まれているピーナツバターによるアレルギーの報告があり、日本でも数年前に加水分解小麦を含む洗顔用石鹸の使用により小麦に対する食物アレルギーを発症した事件がありました。これらは皮膚のバリア機能低下によって感作された典型例です。つまり、フィラグリンの発現低下や石鹸の使用などにより皮膚のバリア機能が低下すると、アレルゲンが皮膚から侵入して感作が成立してアレルギーマーチの発端になると考えられます。

私は以前に乳児の皮膚水分率を学生実験で測定したことがあります。生後3ヶ月の乳児の皮膚水分率は母親の半分以下で、1週間の乳児はさらにその半分でした。すなわち胎児は羊水中に浮いていたので、出生後数ヶ月は皮膚のバリア機能が不完全であり、そのような状態で暖房や冷房を行いますと、皮膚から水分が失われ、バリア機能がさらに低下してアレルゲンが侵入し易くなると考えられます。

すなわち乳幼児期のバリア機能の低下・破壊を発端として、持続的なアレルゲン曝露、

Th 2型反応の誘導、高IgE値、アレルギーの発症という過程が考えられ、近年におけるアレルギー疾患の増加の背景には都市化や地球環境の温暖化に伴う高温・乾燥化に加え、暖房や冷房の普及に伴う室内相対湿度の低下が大きく関係していると推察しています。

これがアレルギー疾患増加に対する私の「生活住環境乾燥化説」の粗筋であります。新年の挨拶としては不格好ですが、ご容赦ください。

認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク
理事長 須藤千春

2、注目!!第10期アレルギー大学開講記念講演&アレルギーっ子のフェア

3月7日(土)・8日(日)に「アレルギーっ子のフェア」を開催致します♪
今回も、盛りだくさんのイベントを企画しております!!

昨年大好評でした「わくわくスタンプラリー抽選会」を今年も開催致します。
その日の出展ブースのスタンプを全て集めていただければ、どなたでも豪華なアレルギー関連商品が当たる可能性、大です!

「第10期アレルギー大学開講記念講演&アレルギーっ子のフェア」

会場：名古屋国際会議場 2号館 展示室 211・212

開催日：3月7日(土) 10:00~17:00 3月8日(日) 10:00~16:00

詳しい内容は後日、アレルギー支援ネットワークのホームページに掲載致しますので、楽しみにしててください。

HPはこちら <http://www.aller-net.com/>

3、「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会

認定NPO法人アレルギー支援ネットワークでは、教育・保育関係の先生および保護者を対象として、エピペンの使用を含むアナフィラキシー対応に関する講習会を企画しています。これまでに園や学校の先生をはじめ、保護者・救急救命士の方など多くの方にご受講いただいた講習会です。

今年度最後の講習会を1月29日（木）に開催致します！！

エピペンを打つタイミングなどの重要なポイントを、詳しく学んでいただくことができる内容となっています。迅速に対応していただけるようになるために、講習会へのお申込みをお待ちしております。

4、賛助会員からのメッセージ （有）泰匠

明けましておめでとうございます。

“愛する家族の笑顔のために今できること”

窓ガラスに塗布するプラチナチタン触媒システム『エアプロット』施工販売元
有限会社 泰匠と申します。

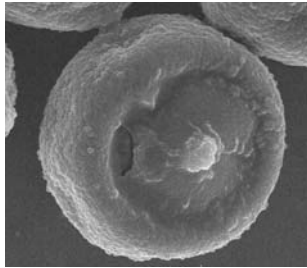
私は幼い頃から、花粉症、動物アレルギー、シックハウス症候群で頭痛、鼻水、発熱、痒みで悩まされてきました。受験シーズンは花粉のピークで、薬を飲めば眠気との闘いでした。『エアプロット』に出逢った今となっては、良い思い出です。

弊社では、地元産スギ、ヒノキなどの自然素材をふんだんに取り入れ、アレルギーゼロを目指した住宅づくりをしている工務店です。下地材から無害な物で作っているのですが、カーテンなどビニール系材や家具などから発生するホルムアルデヒド、外部から侵入する花粉、NOX、PM2.5による症状がどうしても解決出来ずにいました。

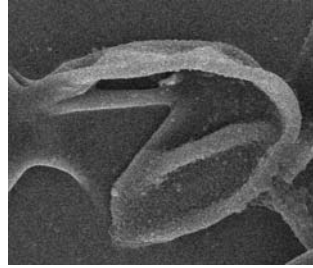
しかし、このプラチナチタン触媒『エアプロット』を窓ガラスに塗布するだけで、これらの有害物質を90%以上分解除去できます。
太陽の力で分解するので、電気代は一切かからず、エコで家計に優しいシステムです。

【プラチナチタン触媒の作用】

花粉症の原因物質を吸着分解 スギ、ヒノキ、イネ、ブタクサ花粉、その他

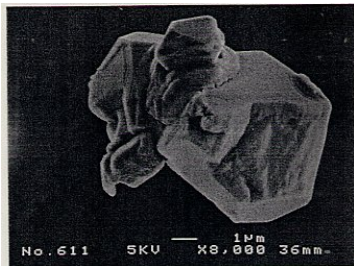


スギ花粉

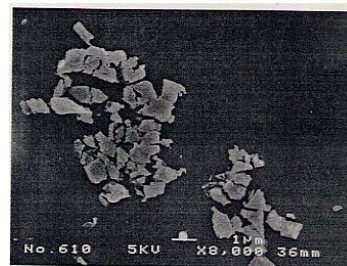


2 時間経過

アトピー・喘息の原因物質を吸着分解 ハウスダスト、ダニの糞、カビ、その他



ダニ、ダニの糞



12 時間経過

その他の有害物質を吸着分解

PM2.5	2.5 ミクロン以下の粒子
NOX	排気ガス
VOC	揮発性の有機化合物、ホルムアルデヒド、その他
接着剤、塗料	トルエン、キシレン、その他
ウイルス	浮遊している風邪菌、インフルエンザウイルスなど
ニオイ分子	タバコの臭い、トイレの臭い、その他

窓ガラス表面の透明度が増す

軽く拭くだけでピカピカ。お掃除手間の低減

【エアプロットの製法や施工技術は特許を取得した技術です】

日本初、シックハウスにならない居室で国土交通大臣認定

国内特許 特許 第 4858857 号

国際特許出願 PCT2006-112281

確実な効果と施工の為、認定資格者による施工を徹底しています。

【お客様の体験談】

新城市在住 F 様 ご夫婦とお子様 2 人の 4 人家族

4 歳になる息子は生まれて間もなくアレルギーの診断を受けました。食べ物は制限され、治療も脱ステロイドの為、痛痒さに耐え夜中に数回起き、泣き疲れて眠る毎日。この小さな身体に安定剤と睡眠薬を飲ませ、将来を考えると不安で親子共々疲れ果てていました。

たまたま紹介された『エアプロット』を寝室のみに塗布してみました。塗り終えた部屋に入った瞬間、空気の違いに驚かされました。冬の澄み切った空気の様に感じました。

塗布後 1 週間、気が付くと息子は夜中に 1 度しか起きなくなり、睡眠が摂れるようになると抵抗力がつき、食欲も出てきました。10 日後には一晩グッスリ眠れるようになり、アトピーの症状も改善され、何より睡眠薬を飲まなくても良くなりました。

テレビを見る時も寝室にいるので、身体で良い空気を感じているのだと思います。近日中に全部の窓に塗布を考えています。

奥様が営む美容室も施工させて頂きました。
アトピーっ子が元気に跳び回り笑顔あふれる幸せな空間です。



今後も、アレルギー支援ネットワークの一員として、1 人でも多くの子供たちが安心して暮らせる空間づくりを目指していきます。

詳しくは

愛知県新城市豊島字竜谷 5 番地の 10

有限会社 泰匠 環境改善事業部

ホームページ <http://www.yasusyou.com>

TEL0536-23-0509 (担当 野村直巳)

5、第 9 回 千葉アレネット情報

明けましておめでとうございます。

NPO 法人千葉アレルギーネットワーク 副理事長 桐谷利恵と申します。

新年皆様はどのようにお迎えでしょうか。千葉では今年もアレルギー大学を開催いたします。ベーシックプログラムも行います。その準備に忙しい毎日です。

今年もよろしくお願いいたします。

【アレルギー大学千葉会場終了式】

第9期アレルギー大学では千葉会場でも上級コースを終了した方が11名いらっしゃいます。

2月14日午後には千葉市生涯学習センターにて終了式を行います。

詳細につきましてはこれからですがメーカーさんにお話を伺えるように交渉しております。

後日のご案内またはHPのアップを楽しみにしてください。

【1月のノンアレカフェ】

1月23日（金）11時半から14時までです。

メニューはHPをチェックしてください。

画像は12月のランチとオプションのデザートです。

デザートはクリスマス用にデコしました。

2014年12月メニュー

<キノコとレンコンの炊き込みご飯>

<お豆のサモサ>

<かぶのポタージュ>

<なんちゃってたこ焼き>

<小松菜のなめたけ和え>

<お汁粉>

★オプションメニュー★各200円

<たんぽぽコーヒー>

<米粉のココア蒸しケーキ★マシュマロデコレーション>



HPはこちら <http://www.chiba-allergynet.jp/nonallecaf>

6、アレルギーっ子の防災

★第15回 「アレルギー対応の防災訓練－2」

メルマガをお読みの皆さん、こんにちは。防災士の中根輝彦です。
今回も災害復旧支援・防災におけるアレルギー支援の取り組み事例について紹介いたします。

前回に続き、「アレルギー対応の防災訓練事例」について紹介します。

前回の防災訓練事例では、炊き出しを提供する側の訓練について紹介しました。
今回は、炊き出しをいただく側の訓練について紹介します。

炊き出しを提供する側の訓練事例には、使用食材の詳細な情報を提供して、食べられるかどうか判断してもらえようにする必要があることを啓発する事例、使われている食材をどうやって伝えるか具体的な方法を考えて実際に試してみる事例などがあります。しかし、いつもこのような食物アレルギーに配慮した炊き出しがされるとは限りません。アレルギー対応炊き出しであると明示して取り組んでいる例は、まだまだ少数派と言えます。

炊き出し担当メンバーのなかに食物アレルギーに詳しい方がいて、きちんと対応してくれれば期待も持てますが、そうでない場合は、どうしましょう？あきらめて何も食べられないまま我慢し続けますか？おそらくそれでは事態は改善されないでしょう。炊き出しをいただく側として、メニューに含まれる食材について聞いてみたり、調味料や加工食品の包装に示されているアレルギー表示を確認させてもらったり、積極的に働きかけることも必要ではないでしょうか？そのような行動が、アレルギー対応の必要性に気付いてもらう啓発につながるのではないのでしょうか？

訓練では、アレルギーっ子本人だけでなく、親子で、あるいは家族で参加し、炊き出し配給所で大人がメニューについて確認することも可能ですが、大人が不在の時に発災したり被災して子どもだけになった場合はどうしましょう？食物アレルギーのことに詳しくない大人の炊き出し担当メンバーに、アレルギーっ子本人が食材について聞き出すことはできるのでしょうか？自分で判断することはできるのでしょうか？

2014年10月西尾市鶴城小学校防災フェスタでは、西尾市の「アレっ子元気」会員によると、「アレルギーサインプレート」を小1児童に持たせて、炊き出し配給場所で提示させ、自分自身でアレルギーの子も食べられるか聞かせる試みをしたそうです。守ってくれる保護者がいなくなっても生き延びるためには、自分で食べられるものを確保することも覚えてほしいという、子どもにとっては負担の大きい訓練と言えます。残念ながら自分でうまく伝えられなかったそうですが、いざというときの練習として、子ども自身も炊き出しをする自主防災組織もリアルな対応訓練となったようです。

食物アレルギーであることを示すツールもいろいろと開発されています。

「アレルギー緊急カード」がアレルギー支援ネットワークから配布されています。本人や保護者の名前や連絡先、アレルギーに関する情報、緊急連絡先、かかりつけ医、家族の集合場所避難先などを書き込めるようになっています。これらをあらかじめ記入して備えておけば、子どもが話して伝えることが困難な内容でも、読んでもらえば伝わります。

特定非営利活動法人ALサインプロジェクトでは、
食物アレルギーサインプレート

<http://alsign.org/signplate.html>

食物アレルギー緊急時カード

http://alsign.org/kinkyuji_c.html

食物アレルギー児災害時用ビブス、食物アレルギー災害時用ゼッケン

<http://alsign.org/zekken.html>

などを提案しています。

アレルギーっ子側からの働きかけで、自主防災組織の炊き出し担当が対応方法について関心を持ち始めたら、次は、食物アレルギー患者のための災害用保存食品やアレルゲンを含まない加工食品についても情報提供し、アレルギー対応メニューを検討する参考にしてもらいましょう。「食物アレルギーひやりはっと事例集 2014」には、これらの情報がたくさん掲載されています。一緒に読んで勉強してから訓練に臨むと、相互理解も進むのではないのでしょうか？

食物アレルギーひやりはっと事例集 2014

<http://www.alle-net.com/info/info06/info-01-3/>

今回は、「アレルギー対応の防災訓練－2」として、炊き出しをいただく側の訓練について紹介しました。

次回は、「救援物資（アレルギー対応備蓄食）輸送訓練－2」として、救援物資輸送訓練と町内会の訓練事例について紹介します。

防災士 中根輝彦

日々つぶやいています。

@TeruhikoNakane

内容は筆者個人の考え方に基づくものです。アレルギー支援ネットワークを代表するもの、方針を反映したものではありません。

ご意見ご感想をいただけると嬉しいです。次の原稿を書く励みになります。アレルギー支援ネットワークの事務局まで、お寄せ下さい。

宛先：info@alle-net.com

6、アレルギーっ子の防災

★★東海アレルギー連絡会<第3回交流会>の報告

11月29日(土) 13:30-16:30 中村生涯学習センターにて、交流会を開催しました。

東海地域で活動をしている、アレルギーの(親の)会、12団体14人の参加で、

内容は、1.各地の防災訓練 報告と情報交換

2.南海トラフ地震に備えて

3.その他 各会の運営の悩みや 各市町のアレルギー対応給食について などの情報交換でした。

9月～11月にかけて、各地で、様々な防災訓練が行われましたが、アレルギーの会として展示ブースを出展したり、炊き出し訓練に参加をしたり、アレルギー対応のアルファ化米の試食をしたりした報告がなされました。

防災訓練に参加をしてみると、自分たちの地域で、どのような備えがなされているかがわかりますし、食の要援護者として食物アレルギーの患者がいるということを発信すれば、周囲の方にアレルギーについて知っていただく機会になります。参加をすることにより反省や失敗を通して課題も見えてきますので、是非みなさんも地域の防災訓練に参加をしましょう。

その際には、日本小児アレルギー学会作成の「災害時のこどものアレルギー疾患対応パンフレット」や、特定非営利活動法レスキューストックヤード作成の冊「地域のみんなで考えよう！アレルギーっ子にやさしい防災」

<http://www.alle-net.com/bousai/bousai03-01/>

を是非ご活用ください。

また、11月22日の22:08に長野県で地震がありました。アレルギー支援ネットワークの安否確認システムに登録をされている長野県内の7名の方に、安否確認のメール配信をしましたので、その結果を報告しました。地震直後、子どものためにおにぎりをたくさん作り不安な気持ちでいましたがメールが届き、少しほっとしました、という声も

届きました。支援ネットでは、災害後に現地に伺うことはできませんが、メールを通して情報提供をすることはできます。長野県の会員さんとメールをやりとりする中で、日頃の備えの大切さも実感していただけたようです。

東海アレルギー連絡会では、南海トラフ地震に備えて、日頃の備えや啓発活動の大切さや知恵を話し合っています。

今回は、2月1日(日)13:30-16:00 中村生涯学習センターにて開催いたします。

7、『第2回 みんなで知ろう食物アレルギー』ご参加お待ちしております♪

RIN RIN♪豊橋アレルギーっ子の会 主催で『第2回 みんなで知ろう食物アレルギー』を開催します！！今年度は、第一回目よりさらに内容を充実させました。

行政からは、豊橋市の保健所こども保健課、教育委員会 保健給食課に加え、保育課と消防署（救急救命士さん）の取り組み報告が加わりました。

そして、医師の講義は、乳幼児編を村田浩章先生（渥美病院小児科部長）、学童編を杉浦至郎先生（豊橋市民病院 小児科・あいち小児保健医療総合センター アレルギー科）がして下さいます。

1日は、ちょっと長いかもしれませんが、食物アレルギーについての最新の情報や正しい知識が学べ、また、豊橋市の取り組みの様子がよくわかると思います。

午前・午後どちらかの参加も可能ですが、ご都合のつく方は、ぜひ1日通してのご参加をオススメします♪

アレルギー疾患をもつお子様とご家族様をはじめ、アレルギー児と関わる周囲の方や、食物アレルギーについて関心のある方々など、どなたでもご参加できます！！

みなさんと一緒に、食物アレルギーについて学び、知ることができたら嬉しく思います。

『第2回 みんなで知ろう食物アレルギー』

【開催日】2015年 1月 11日（日）

午前の部：10：00～12：30

午後の部：13：30～16：00

【場所】豊橋市民病院 3階講堂

【参加費（資料代として）】午前200円/午後200円 1日通し300円

【定員】午前・午後 各100名 (申込順)

☆ お申し込み ☆ ※申込締切：1月5日(月)

下記の6項目をブログ (<http://rinrintoyohashi.dosugoi.net/>) のメッセージ欄、
又は rinrintoyohashi@yahoo.co.jp へお申し込み下さい。

1. 代表者氏名
2. 参加人数(代表者含む)
3. 連絡先電話番号
4. e-mail
5. 参加枠(午前/午後/1日)
6. 託児希望の有無(500円/1人)

※託児は先着10名とさせていただきます、持ち物等、後日こちらからご連絡させていただきます。

RIN RIN♪豊橋アレルギーっ子の会 平田佐規子

8、アレルギーが心配な保護者の方へ

★豊川アレルギーっ子の会からのメッセージ

私たち「豊川アレルギーっ子の会」は設立して7年目の会です。

日頃は、豊川市のウイズ豊川で月1回の定例会を開いています。

会の中には、中学生の子供がいるスタッフもあり、これまでの経験からアドバイザー的存在になっています。

定例会は大人数ではありませんが、常に新しい方がみえるので、この会の必要性を感じています。ですので、細くても長く会が続くように活動をしていきたいと、私たちスタッフは思っています。

会の活動は定例会以外に、学校給食センターの訪問をしています。

会の設立当時から毎年1回実施しています。内容は、給食センターの見学や学校給食課の方たちとの意見交換、給食の試食などです。これまでに、私たちアレルギー児の保護者の要望に耳を傾けていただき、今年度の5月から卵除去の給食を提供してもらえるようになりました。大変うれしく、ありがたい出来事でした。

8月には、豊川市総合防災訓練にはじめて参加させていただきました。

当日の訓練には消防をはじめとする市の職員の方や自衛隊、各自治会の方たちも参加され、様々な訓練が同時に行われました。その中で、私たちは食物アレルギーがある被災者という

設定で、避難所へ行きアレルギー対応の物資を受け取るという訓練を行いました。また、アルファ化米をパック詰めする訓練にも参加させていただきました。

今回の訓練で、豊川市の中にアレルギー疾患を持つ子供たちがいる事や、私たちの会の存在を大いにアピール出来たかは疑問ですが、その第一歩にはなったのではないかと考えています。この訓練も今後も給食センター訪問のように毎年参加させていただいて、少しでも行政との「つながり」、豊川市の人々との「つながり」を持ち続けていけたらと思います。

会を続けていく中で、いろいろな「つながり」が大切であることがわかってきましたが、豊川市以外の患者会との「つながり」も大切にしていきたいと考えています。

11月には、かわだ小児科アレルギークリニックの川田先生のご厚意により、豊川市で「東三河アレルギー勉強会」を開催する事が出来ました。

川田先生の講演は大変わかりやすく、その中で正しい知識や新しい情報を得ることの大切さを痛感しました。この勉強会は、豊橋、蒲郡、田原の会の方たちとの合同開催だったため、より深く交流でき、大変有意義な時間が過ごせました。

今後も東三河の患者会同士の「つながり」を大切にし、“顔の見える”おつき合いが続けていけたらと思います。

豊川アレルギーっ子の会 榊原直美

8、アレルギーが心配な保護者の方へ

★★1月「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど、私たちと一緒に話をしませんか？どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問合わせも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。

会に参加ご希望の方は、アレルギー支援ネットワーク事務局までお気軽にお問い合わせください。皆さまのご参加をお待ちしております。

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

【各地の患者会】

<http://www.alle-net.com/network/network04/network04-03/>

【アレルギー支援ネットワーク事務局】

電話：052-485-5208

URL：http://www.alle-net.com/

9、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ

アレルギーに関する勉強会・イベント情報などをホームページにて掲載しております。
皆さまの情報交換の場として、是非ご活用ください。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.alle-net.com/info/info07/info07-08/>

10、Gooddo（グッドゥ）でアレルギー支援ネットワークを応援して下さい！！

アレルギー支援ネットワークは、ソーシャルグッドプラットフォーム gooddo（グッドゥ）に参加しております。

<http://gooddo.jp/gd/group/allesien/?md=fb>

上記のリンクから gooddo のアレルギー支援ネットワークのページに行き、毎日ぜひ『応援する！』をクリックして下さい。（クリックにお金はかかりません）

クリックによって 20～1000 ポイントがアレルギー支援ネットワークの支援のために加算され、ポイントに応じて応援企業から支援金が「アレルギー支援ネットワーク」に届けられます。

他にも gooddo 内ではいいね！やお買い物でもご支援頂く事ができます。
ぜひ「応援する！」「いいね！」でご支援、ご協力をお願いいたします！

<http://gooddo.jp/gd/group/allesien/?md=fb>

▼gooddo（グッドゥ）とは？

自分の応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に応援することができるソーシャルグッドプラットフォームです。

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

お問い合わせ：info@alle-net.com

=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは
asn-mailmagazine@alle-net.com（メルマガ編集部）までお願いします。

また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。（メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。）

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部
asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。

なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆☆☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでもOKです。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町 2-45-6

▽TEL：052-485-5208 ▽E-mail：info@alle-net.com

☆◆-----